

エコマークを活用して繋がる 店頭回収リサイクルの輪



エコマーク
ちきゅうをまもる
かしこい選択



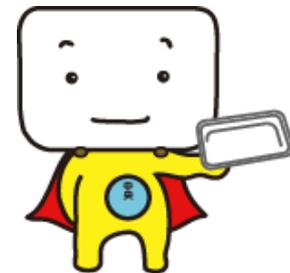
 中央化学株式会社 × エコマーク

2017年2月27日

 中央化学株式会社

■ 本日の説明内容

- I. 会社概要
- II. 3R推進のための取り組み
- III. エコマーク認定商品
- IV. エコマークを活用したコミュニケーション



公式マスコットキャラクター
『トレーマン』

エコマーク認定商品



エコベンチ

2001年9月 取得



CHUO A-PET GREEN

2015年12月25日取得



I. 会社概要

社名：中央化学株式会社
(JASDAQスタンダード市場上場、三菱商事グループ)

事業内容：合成樹脂製食品容器及び関連製品の製造販売

代表者：水野 和也 代表取締役社長

本社所在地：埼玉県鴻巣市宮地3-5-1

設立：1961年1月

資本金：62億円

従業員：2,162名

売上高：593億円 (2016年3月期)

【拠点情報】

国内	営業	8
	生産	9
	物流	4
中国	営業	7
	生産	5

生産拠点

【日本】



【中国】



上記5箇所は生産拠点+営業拠点
その他営業拠点は香港、成都

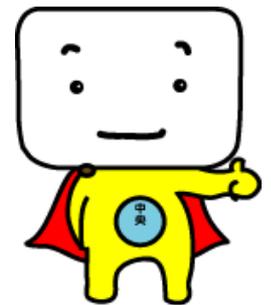
I. 会社概要 当社製品

スーパーマーケット、コンビニエンスストア、街のお弁当屋さんなどのお店で見かけることができるプラスチック食品容器を製造販売しています



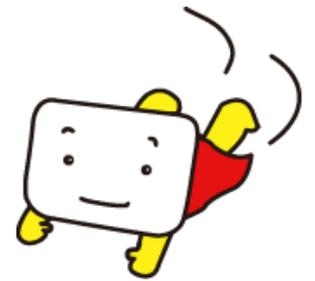
たれびん

「たれびん」は
中央化学の
創業製品だよ



I. 会社概要 当社製品

お店で見かけるお馴染みの製品



デザイン重視の容器



2013年度グッドデザイン賞受賞 S D style



Ⅱ. 3R推進のための取り組み

お客様のニーズと地球環境を考えた製品展開



素材開発

素材メーカーとの連携体制を組むことにより、技術的難易度の高い安全・安全、且つ環境負荷低減素材の開発に着手しています

- PSP素材
- SD素材
- C-APG素材

製品開発

様々な用途、ニーズにあったデザインを豊富に取り揃えることは勿論、より省資源な製品開発も重要と考えます

- 薄肉化、軽量化
- 積み高さ低減（物流）
- バリ容器（食品用）
- 環境負荷低減素材活用

リサイクル

食品容器メーカーの自主的な取り組みとして、使用済み食品容器の回収・リサイクルに取り組んでいます

- マテリアルR
- ケミカルR
- サーマルR

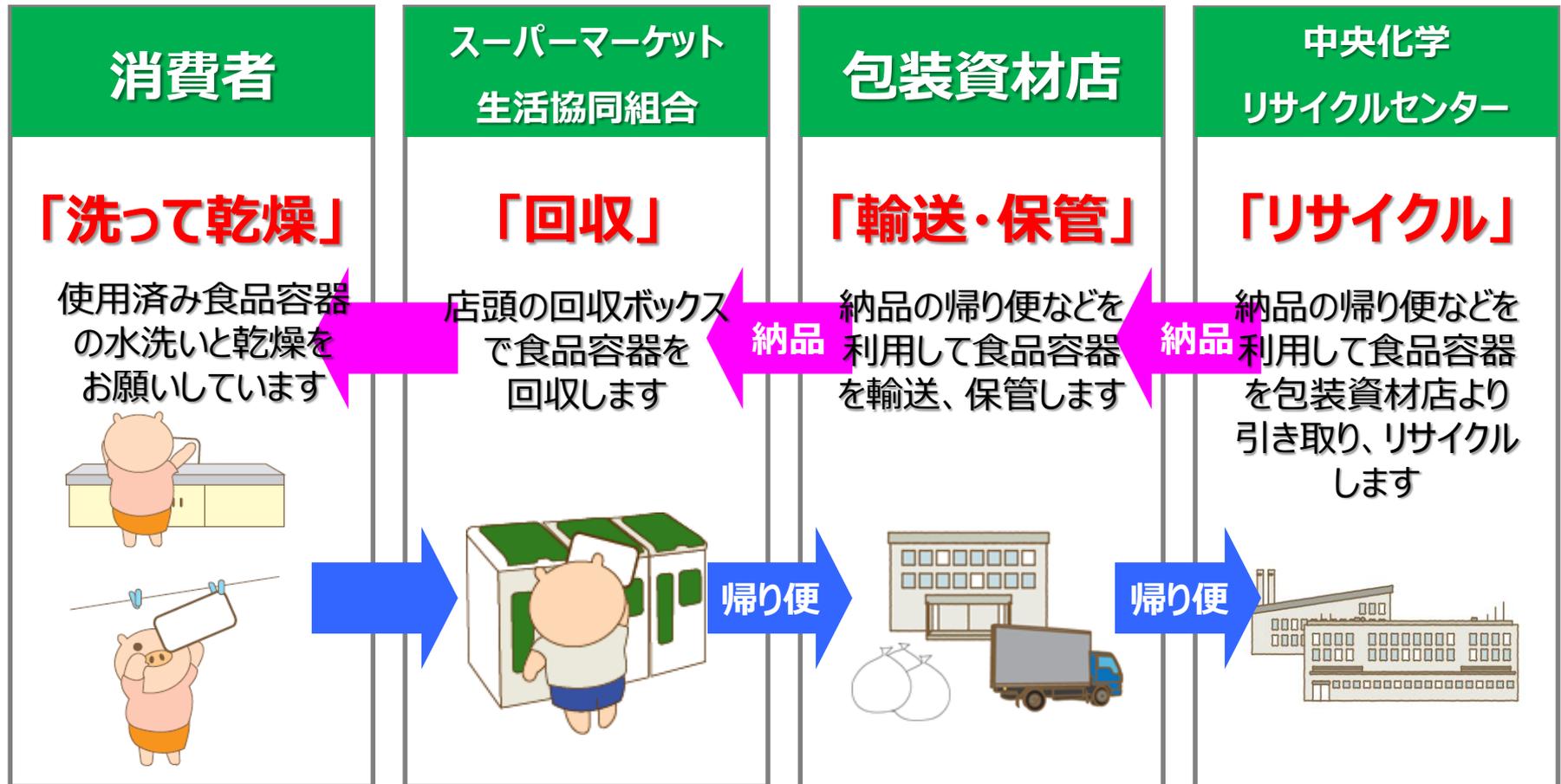
安全・安心

食の一端を担う企業として、衛生安全基準を遵守することにより、食品容器の安全を守っています

- 自主基準
- 業界基準
- 法令・公的基準
- 再生プラスチック

Ⅱ. 3R推進のための取り組み Recycle

消費者・スーパーマーケットなどの小売店・包装資材店のご協力頂き、使用済みプラスチック食品容器の店頭回収・リサイクルしています



II. 3R推進のための取り組み Recycle

使用済みプラスチック食品容器を最適な手法でリサイクルします

	回収量(トン)	枚数換算(枚)
2015年度	2,484	6億2,091万
累計 (1990年から)	82,934	207億3,341万



店頭回収リサイクルシステム

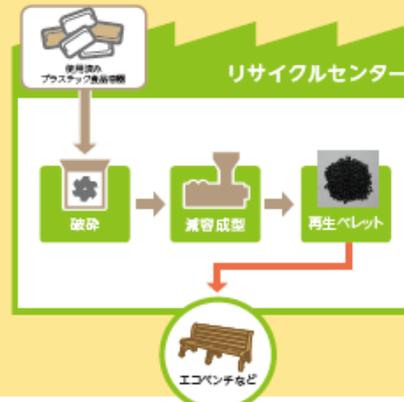
① ケミカルリサイクル

使用済みプラスチック食品容器は新日鐵住金㈱のコークス炉化学原料化法を活用して化学的に精分解され、炭化水素油やコークス、コークス炉ガスに生まれ変わります。このうち炭化水素油はポリスチレン樹脂などのプラスチック原料として利用され、プラスチック食品容器の原料の一部として使用されます。



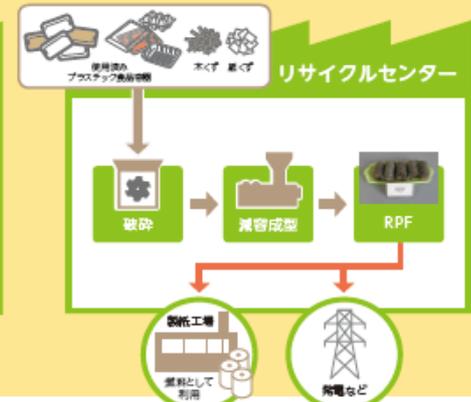
② マテリアルリサイクル

使用済みプラスチック食品容器はリサイクルセンターで選別、粉砕、溶融工程を経て、プラスチック原料に戻されます。再生された原料は、エコベンチなどの原料の一部として使用しています。



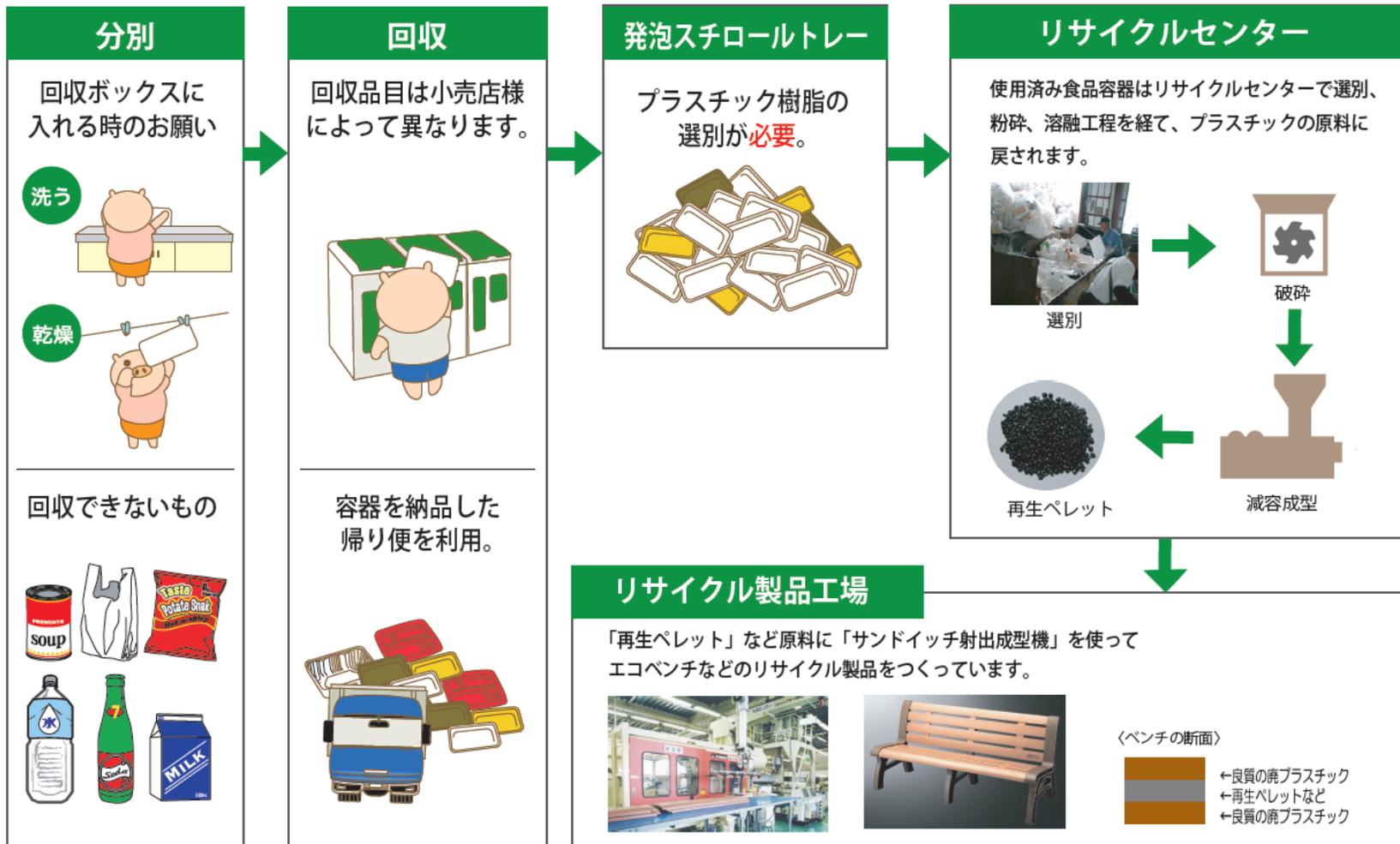
③ サーマルリサイクル

使用済みプラスチック食品容器は「木くず」「紙くず」などと一緒に破碎、固形化され、石炭などの代替燃料・RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) になります。RPFは主に製紙会社や発電施設などのボイラー用燃料として利用しています。



Ⅲ. エコマーク認定商品 エコベンチ

小売店などの店頭にて集められた使用済み発泡スチロールトレイ由来の再生原料をエコベンチの原料の一部として使用しています



Ⅲ. エコマーク認定商品 エコベンチ

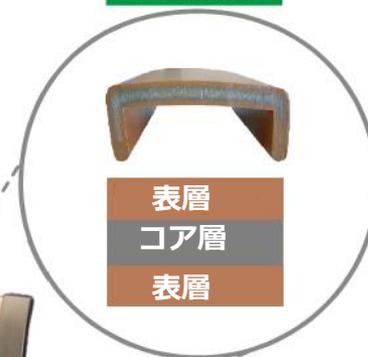
販売開始から20年以上、エコマーク認証16年の長きにわたり、店頭回収リサイクル関連商品として親しまれています

★サンドイッチ射出成型技術を活用

- ・表層とコア層に異なったプラスチック原料を使用
- ・表層に高グレードの再生原料を使用、コア層に小売店などの店頭にて集められた使用済み発泡スチロールトレイ由来の再生原料などを使用
- ・ベンチ座背・脚に於いて、再生原料55%以上使用

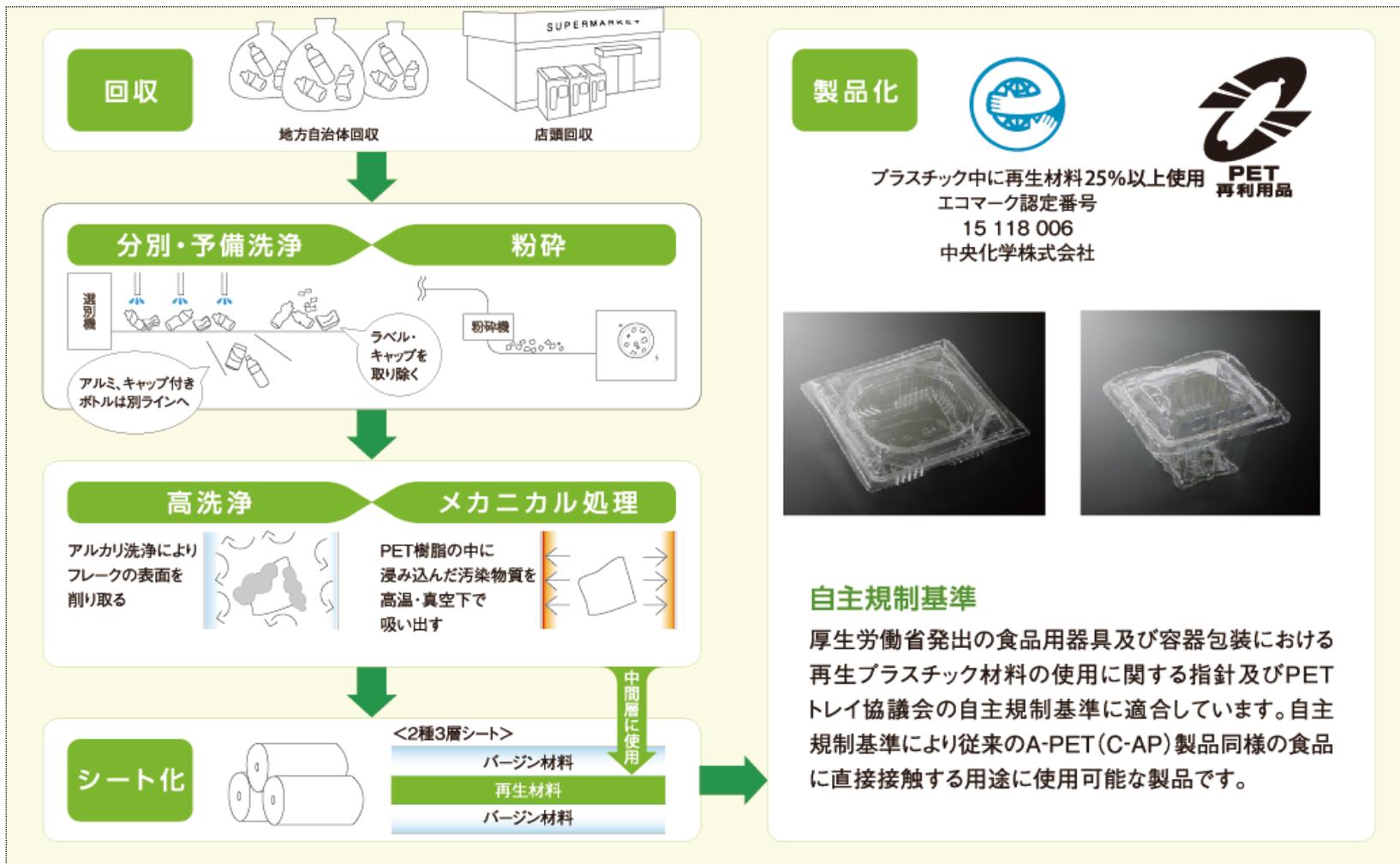


ベンチ断面写真



Ⅲ.エコマーク認定商品 CHUO A-PET GREEN

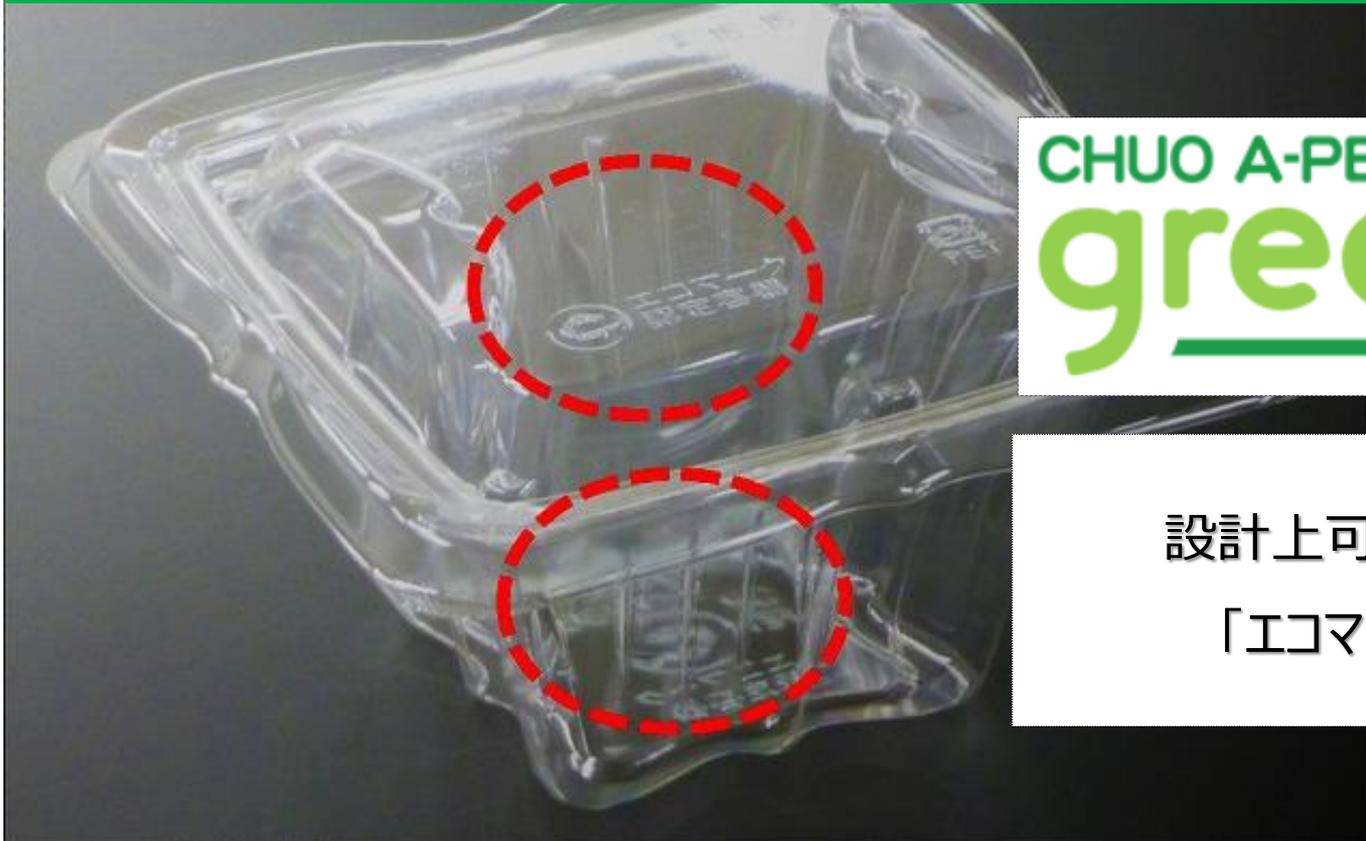
A-PET製品に再生PET原料を用いるリサイクルに取り組んでいます



Ⅲ.エコマーク認定商品 CHUO A-PET GREEN

自社既存A-PET製品も『CHUO A-PET GREEN』に切替予定
環境配慮型製品としてシリーズ化

CHUO A-PET GREEN カリエ



設計上可能な製品には
「エコマーク」を刻印

IV.コミュニケーション 工場見学会

環境やリサイクルの取り組みを知ってもらうため、
消費者向けに工場見学会を実施しています

《2015年度》

- ・騎西工場… 57組（459名）
- ・岡山工場… 18組（42名）

環境リサイクル展示場



食品容器の製造からリサイクルまでの流れを
展示し、原材料や金型など実際に触ることも
できます

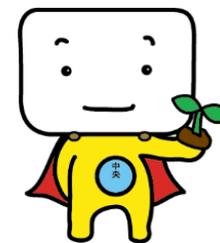
リサイクルセンター



首都圏や関東地区のスーパーマーケットの
店頭で回収された使用済み食品容器の
リサイクル施設を見学できます

IV.コミュニケーション 工場見学会

工場見学に来場したお客様に専門のスタッフが
パワーポイント、展示パネルを使用してエコマーク商品を紹介します

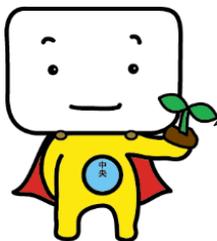


IV.コミュニケーション 環境学習応援隊

埼玉県の環境学習応援隊に参加、プラスチック、リサイクルなどをテーマに出前授業を実施、授業の中でエコマーク商品を紹介しています



2007年の開始から2015年
までに33校訪問したよ



エコベンチの
カット片を見ているよ



IV.コミュニケーション 商談会（東京・大阪・名古屋・福岡）

2016年当社商談会・環境リサイクルブースにて、
『CHUO A-PET GREEN』などを紹介しました

CHUO A-PET GREEN



店頭回収リサイクル



IV.コミュニケーション 地域環境フェア

地域の環境フェアに参加し、一般消費者と交流を深めています

環境フェスティバルふくおか2016



SAITAMA環境フェア & こどもエコフェスティバル



コープさっぽろ 食べフェス



雅楽谷の森フェスティバル 【埼玉県蓮田市】



IV.コミュニケーション 環境レポート【年1回発行】

2016年度の環境レポートで、『CHUO A-PET GREEN』を
エコマーク取得商品として紹介しました



食品に直接接触する用途に使用できる環境配慮型製品
PETボトルのリサイクル **CHUO A-PET GREEN [C-APG]**

回収される使用済みPETボトルは貴重な資源であり、PET樹脂の循環リサイクルは世界的標準として拡大しています。中央化学は、PET樹脂の原料に再生PET原料を用いるリサイクルに取り組んでいます。2016年、CHUO A-PET GREEN [C-APG] シリーズとして発売しました。

C-APGの取得認定・自主規制基準

エコマーク認定	PETボトルリサイクル エコマーク取得	PETトレイ原料 自主規制基準
<p>取得番号: 12114004 資源物の再資源化による環境負荷の低減が認められ、資源物の有効利用の促進を図るための環境配慮型製品として認定された。認定事業者は、資源物の有効利用の促進を図るための環境配慮型製品として認定された。</p>	<p>【認定番号】201420001 使用済みPETボトルをリサイクルして再生したPET原料を原料としたPET樹脂の原料に再生PET原料を用いるリサイクル品に認定された。</p>	<p>2層2層シート ①PET樹脂 ②PET樹脂 ③PET樹脂 ④PET樹脂</p> <p>※試験項目 食品と食品と直接接する用途に使用できるPET樹脂として認定された。PET樹脂の原料に再生PET原料を用いるリサイクル品に認定された。PET樹脂の原料に再生PET原料を用いるリサイクル品に認定された。</p>

PETリサイクルの流れ
 ※米国FDAの安全確認に適合した再生原料へ再資源化

12
社 中 央 化 学

P.12掲載

IV.コミュニケーション 株主通信【年2回発行】

第56期株主通信で、『CHUO A-PET GREEN』を エコマーク取得商品としてステークホルダーに紹介しました

安心を、いつも中央に。

株主通信

第56期 決算報告
2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日

◆トップメッセージ
株主の皆様へ

◆トピックス
・C-APGシリーズ
・2016春の商談会
・東北営業部移転

◆中国事業
◆新製品紹介
・なごみ
・Sail

【証券コード: 7895】
中央化学株式会社

Topics ①
循環社会実現への貢献

PETボトルの
リサイクル

食品に直接触れる用途に使用できる環境配慮型製品
PET樹脂の循環リサイクルは世界的な傾向として拡大しています。回収される使用済みPETは貴重な資源です。
中央化学は、PET容器の素材に再生PET素材を用いるリサイクルに取り組みます。
2016年、CHUO A-PET GREEN[C-APG]シリーズとして発売しました。

CHUO A-PET green® PETリサイクルから、C-APG製品完成までの流れ

回収 東日本ペット回収 西日本ペット回収

分別・予備洗浄 プラシット、PETボトル、PETボトルキャップを分別回収

粉砕 プラシット、PETボトル、PETボトルキャップを粉砕

高洗浄 アルカリ洗浄によりプラスチックの表面を精製

メカニカル処理 PET樹脂の中に混入した汚染物質を高圧・高温度で除去

シート化 再生PET材料、PET材料、PET材料

製品化 プラスチック中に再生材料80%使用
エコマーク登録番号 15-118-000
中央化学株式会社

自主規制基準
厚生労働省発出の食品用器具及び容器包装における再生プラスチック材料の使用に関する指針及びPETトレイ協会の自主規制基準に適合しています。自主規制基準により従来のA-PET(C-AP)製品同様の食品に直接触れる用途に使用可能な製品です。

7

P.7掲載



ご静聴いただき誠にありがとうございました

中央化学株式会社